7　芸術（美術）

学校番号	１００９

令和２年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	１単位	年次	１年後期
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	ワークプリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・視て感じる、感じて創ることを基本に踏まえるべき手段を経て徐々に個のものとなっていく過程を実感します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩・構成などについて着目して、感じ方や見方、表現を深めていきましょう。様々な表現や感じたことを共有すると、更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	ようこそガシ校美術へ	教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・自己紹介 ・イメージのイラスト	○	○	○		a:課題に素直に接し、表現の工夫や喜びに関心を持ち　主体的に取り組もうとする。 b:言葉から連想されるイメージを豊かに創造している。 c:主題にあった表現を工夫している	学習活動の様子 制作の様子 作品
	色を知ろう	・色相トーン一覧表作成 ・好きな色を選び、色名を調べ、選んだ理由を考える。	○	○	○		a:様々な色の存在に出会い、関心を持ち制作している。 b:色から感じたことを表現している。 C:作業を効率化しながら丁寧に仕上げていける工夫をしている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	新種の花をつくろう	・基礎的な色彩の知識を身に付ける。 ・形の面白さについて画用紙を切り出しデザインガッシュで着色し組み立てる。 ・新種の花それぞれのイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。 ・新種の花の説明書を作る。 ・観賞	○	○	○	○	a:新種の花のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:自己の作品を振り返ると共に他者の作品について関心を持つ。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート
	カラーパズル	・雲形定規を使い色彩構成する。 ・セロファン効果をいかす ・鑑賞	○	○	○	○	a:補色の関係を理解し形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:自己の作品を振り返ると共に他者の作品について関心を持つ。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート

	透視図法を使って	・基礎的な透視図法を身に付ける。	○	○	○		a:基礎的な透視図法を理解し形や光の働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:表現の構想を練っている。 c:表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品
	光を捉える	・写真から対象を選び、点描で表現する。 ・点の集合、粗密で立体が表現できることを学ぶ。	○	○	○	○	a:光で立体をを表現することに関心を持ち、形や立体の働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や点の粗密などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:点描の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:自己の作品を振り返ると共に他者の作品について関心を持つ。	制作の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品
	展覧会へ行こう	・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。 美術館展示作品 8ブロック展作品 堺支援学校作品等	○			○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。